




Looking for change?






HOW TO WORK BETTER.
1 DO ONE THING
AT A TIME
2 KNOW THE PROBLEM
3 LEARN TO LISTEN
4 LEARN TO ASK
QUESTIONS
5 DISTINGUISH SENSE
FROM NONSENSE
6 ACCEPT CHANGE
AS INEVITABLE









Ⅷ 来場者の状況

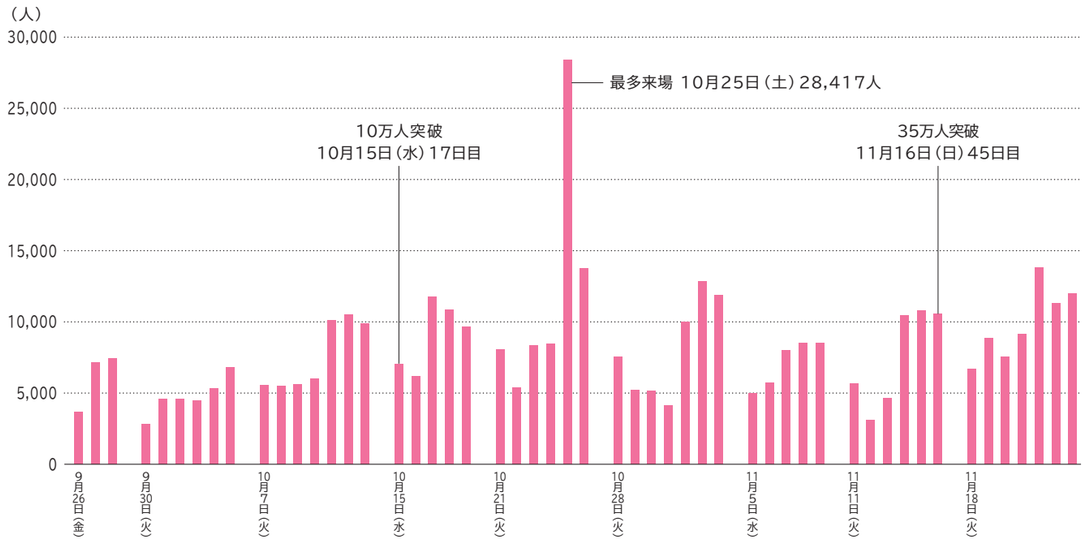
来場者の状況

延べ来場者数：424,917人

会場	人数
旧内山下小学校（校庭・プール）	28,893人
岡山県天神山文化プラザ	15,408人
岡山市立オリエント美術館（入口前）	35,704人
岡山神社	19,024人
出石町空き地	10,755人
岡山県立図書館	19,868人
丸の内ハウス	12,360人
旧寫真イガラシ	13,052人
城下地下広場	38,520人
岡山シンフォニービル（渡辺栄文堂北側）	26,702人

会場	人数
表町商店街（表町アルバビル旧館3F）	6,974人
表町商店街（表町シェルター）	6,981人
表町商店街（雷電館1F）	7,077人
表町商店街（第2サカエ町ビル1F）	7,033人
表町商店街（岡山専門店会館1F）	7,693人
岡山天満屋（てんまやアリスの広場）	53,491人
岡山天満屋（表町商店街側ショーウィンドウ）	61,636人
旧西川橋交番	25,077人
西川緑道公園	28,669人
計	424,917人

延べ来場者数推移



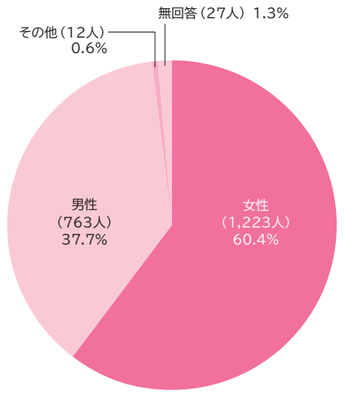
来場者アンケート調査

来場者の属性、評価、意見などを把握するため、旧内山下小学校、岡山県天神山文化プラザの2会場において来場者へのアンケート調査を実施した。（回答者数2,025人）

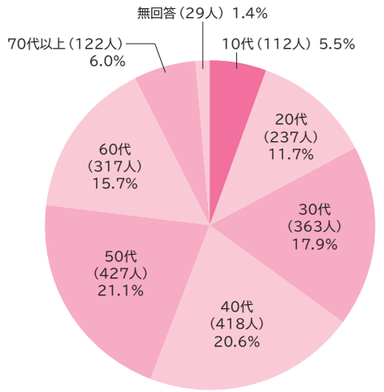
- ○ 性別は女性が約60%で、10～30代の層が全体の3分の1を占め、40～50代の層が約4割を占めている。
- ○ 岡山市内からの来場が4割強を占める。県内からは倉敷市などの県南部からが大半である。
- ○ 県外からの来場は約25%で、関東（東京都）、近畿（大阪府、兵庫県）など都市圏が主となっている。
- ○ 海外からの来場は約12%で、前回（約0.8%）に比して大幅増となった。
- ○ 交通手段は飛行機が約11%、新幹線及び鉄道の利用が全体の3分の1を占め、自家用車約19%、徒歩約18%となっている。
- ○ 宿泊日数は回答が得られたもののうち約半数が「日帰り」で、「1～2泊」が約4割合を占めている。
- ○ 会場間の移動は徒歩が7割を超え、旧内山下小学校、岡山県天神山文化プラザの会場を中心に複数会場を周遊している。
- ○ 過去の開催に来場された方のリピーターは約41%で、前回（約39%）から同様の割合を占めている。
- ○ 次回開催の場合「ぜひ訪れたい」「訪れたい」で約89%を占めており、次回来場意欲は高くなっている。

●属性

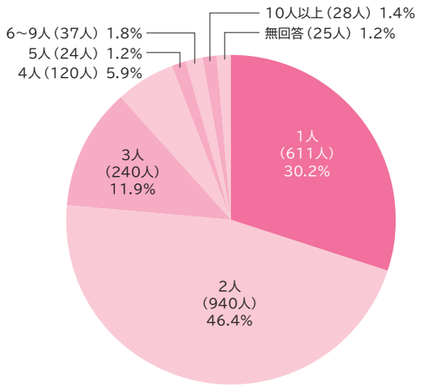
性別



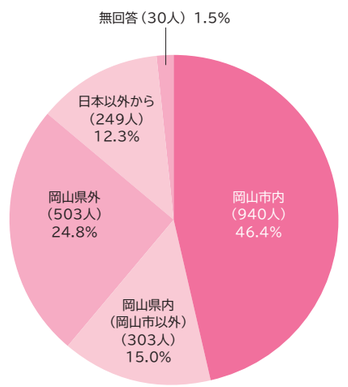
年齢



来場人数



お住まい

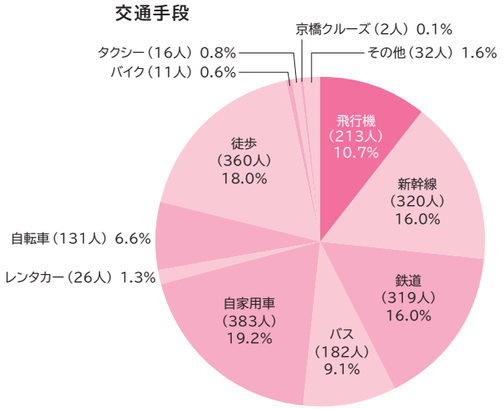


※国内は東京都、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県、広島県、香川県など、31都道府県から来場の回答
※海外は、台湾、韓国、中国、アメリカ、シンガポール、ヨーロッパの国々、その他の国・地域から来場の回答

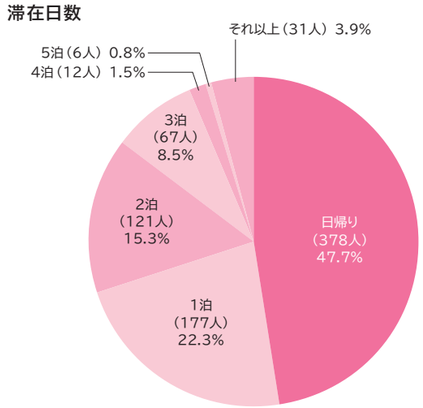
来場者アンケート調査

●交通・宿泊

交通手段

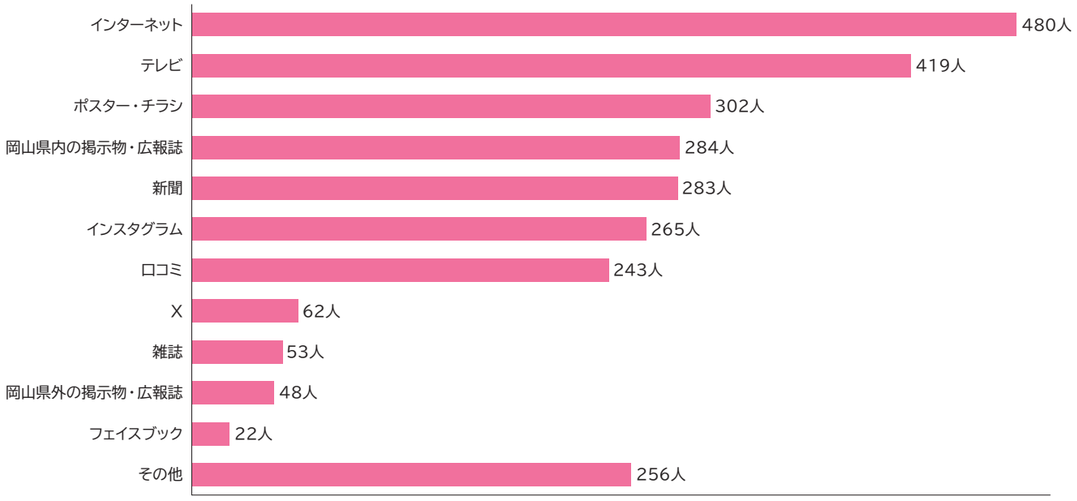


滞在日数



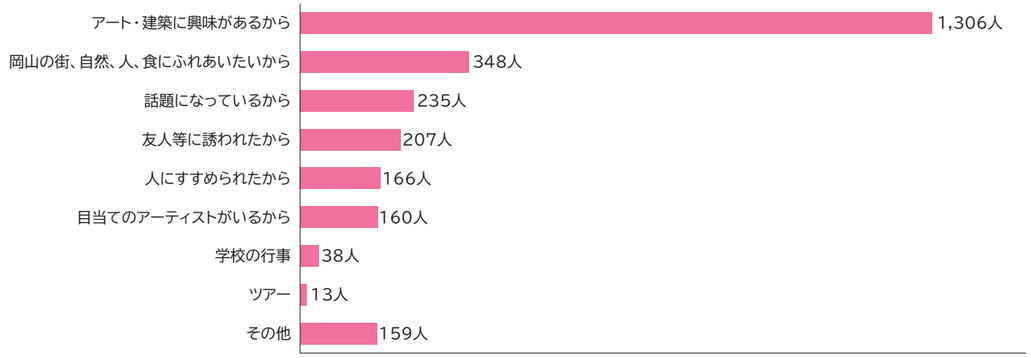
●来場のきっかけ

今回の芸術交流をどのようにして知ったか（複数回答）



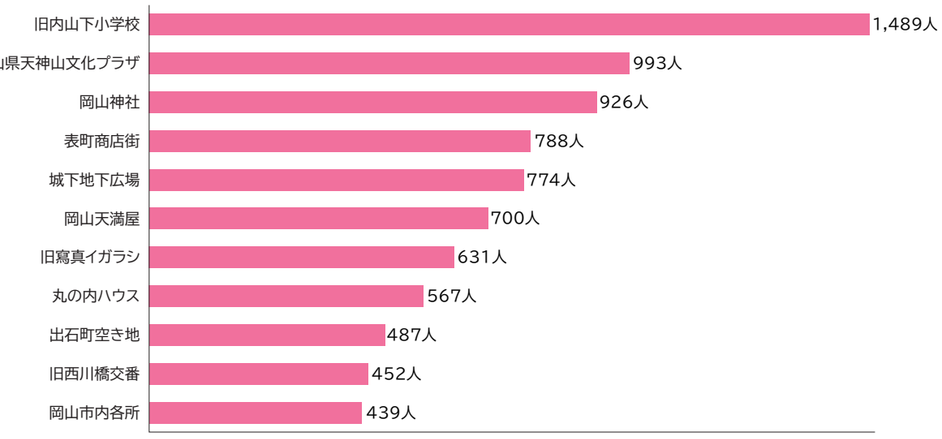
来場者アンケート調査

来場の動機（複数回答）

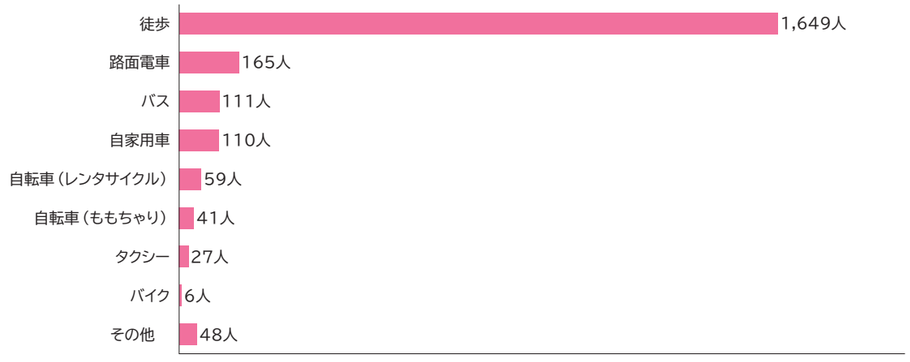


●鑑賞

鑑賞した会場（複数回答）



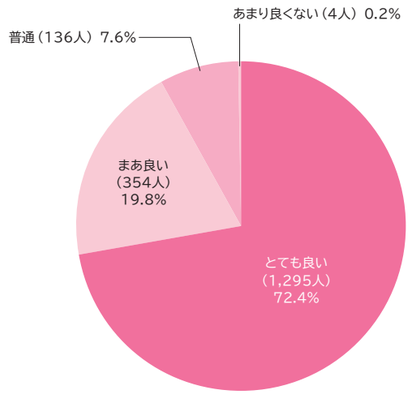
会場間の移動手段（複数回答）



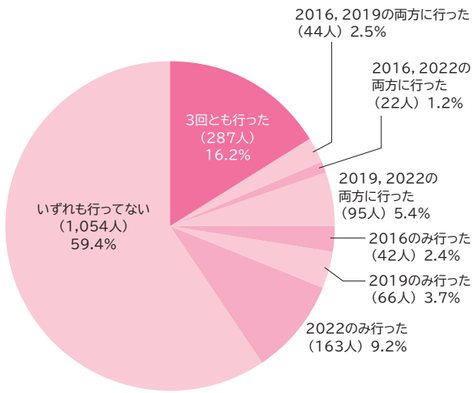
来場者アンケート調査

●評価

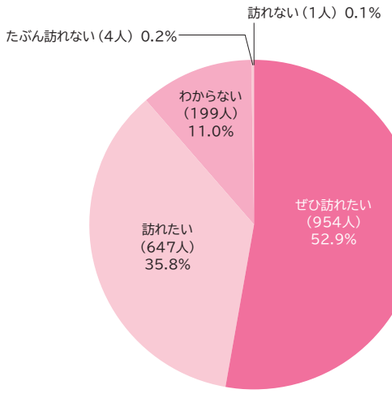
スタッフの対応



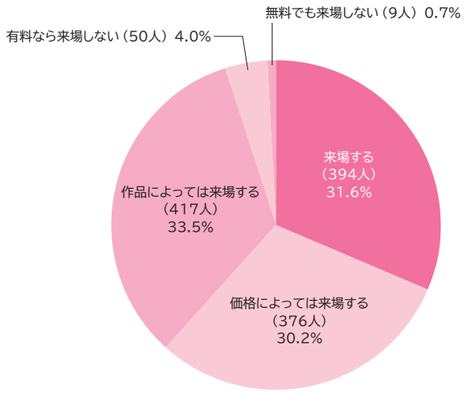
過去の岡山芸術交流には来場されたか



次回の岡山芸術交流にも訪れたいか

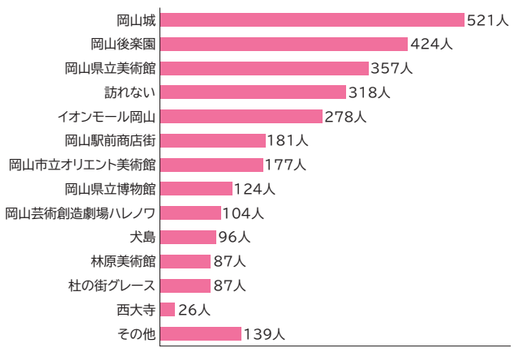


次回有料開催となった場合に訪れたいか

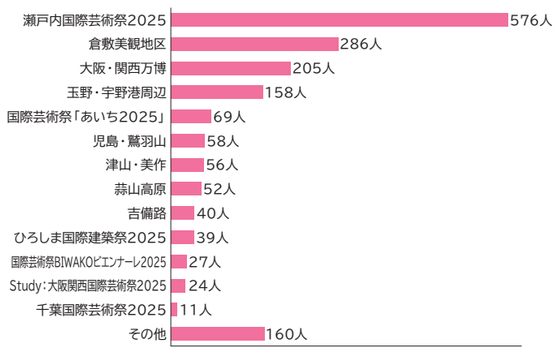


●岡山芸術交流2025以外の訪問

岡山市内の観光地など（複数回答）



岡山市外の観光地など（複数回答）



















IX 効果

経済波及効果

岡山芸術交流2025の開催により、岡山県内分で約28億円、岡山市内分で約21億円の経済波及効果があったと推計した。

経済波及効果の推定結果（一般財団法人岡山経済研究所 推計）

1　岡山県内分

	直接効果	第1次波及効果	第2次波及効果	総合効果
県内事業費	156百万円	51百万円	52百万円	259百万円
来場者消費額	1,547百万円	628百万円	362百万円	2,536百万円
合計	**1,703百万円**	**678百万円**	**414百万円**	**2,795百万円**

2　岡山市内分

	直接効果	第1次波及効果	第2次波及効果	総合効果
市内事業費	143百万円	37百万円	37百万円	216百万円
来場者消費額	1,171百万円	469百万円	252百万円	1,892百万円
合計	**1,314百万円**	**506百万円**	**288百万円**	**2,108百万円**

※直接効果……岡山芸術交流の事業費及び来場者による県内（市内）消費額によって、県内（市内）産業部門に直接に生産を誘発する効果。
※第１次波及効果…原材料を他産業から購入することによって起こる生産誘発額効果。
※第２次波及効果…直接効果と第1次波及効果によって誘発された生産から生み出された雇用者所得が新たな消費に向けられることにより、再び生産を誘発する効果。

評価

新聞・ウェブサイト

山陽新聞／2025年10月17日（金）
まちがアートの公園に
芸術交流の作品は、現実と非現実、芸術とテクノロジーが混ざり合い、アートとは何かを問いかける。従来の絵画や彫刻と違って分かりにくいが、新しい気付きや発見があって面白い。まちを公園に見立てた今回は、鑑賞無料のため、通勤通学や買い物の途中に何度でも立ち寄れる。歩いて、考えて、アートの醍醐味（だいごみ）を味わいたい。

Numéro TOKYO／2025年10月14日（火）
岡山の街（日常）にアート（非日常）はどう現れるのか？「岡山芸術交流2025」レポート
例年、コンセプチュアルなアート作品を多数展示する印象のある「岡山芸術交流」だが、今年度も同様だ。こうした難解とも言える作品を、わかりやすいものに置き換えることなく、街や市民にそのまま開放していく。総合ディレクターの那須太郎（TARO　NASU代表）は、10年のあゆみを振り返りながらこう語った。
「いま、このような国際的な展覧会は各地で行われています。でも、それを『まちおこし』と言うのは違うだろう。人が変わらないと街は変わらない。そのために（岡山芸術交流は）人を育てていこうと考えています。それは時間がかかることなので、これからも継続的に続けていけたらと思います」
今年度、初めて全会場・全作品を「無料」で公開した。「屋外の都市空間を多く活用し、岡山の街自体が作品に」というコンセプトに基づく試みであると同時に、前述の本プロジェクトの街や人に対する姿勢とも重なるように思う。
アート作品を点在させ、誰もが分け隔てなく使えるパブリックな空間へと拡張していく。もちろん違和感を感じ立ち止まる人もいれば、気づかずに通りすぎる人もたくさんいるだろう。それもまた「公園」的だと言えるのではないか。初年度開催から10年目を迎えた「岡山芸術交流」。拡充されたさまざまな試みによって、どう岡山の街（日常）にアート（非日常）が溶け込み、街や社会へと作用していくのだろうか。

GQ JAPAN／2025年10月15日（水）
「岡山芸術交流2025」の見どころをレポート！ 先鋭的な表現者と「概念を共有する」国際展
これまで4回にわたり、欧米主導のアートの最先端を反映し、極めてコンセプチュアルな作品を紹介してきた「岡山芸術交流」。常に刺激的で、先鋭的な表現者たちとその「概念を共有する」ことの知的ハードルの高さが本展最大の特徴といえるだろう。これまでに2回に参加してきたアーティストで、「アーティスティック・トランスレーター」（岡山市民の理解を深める案内人）という今回初めて設けられた役職を任命された島袋道浩はこう語る。
「”わけのわからんもん”をそのまま見せてきたことが良いと思います。例えば、初めてビールを飲む時の苦さや飲みにくさを砂糖とか入れてやさしくせずに続けることがアートには大切なんです」
現代美術は難解、という先入観をやわらかくほぐすために多くの芸術祭が講じてきた方策をことごとく無化するこの姿勢が「岡山芸術交流」であり、今後もこれでいってほしい。今年もまた手強いアートに出会える1日になるはずだ。

X 実行委員会

組織

会長
大森雅夫（岡山市長）

副会長
笠原和男（岡山県副知事）
松田久（岡山商工会議所会頭）

総合プロデューサー
石川康晴（公益財団法人石川文化振興財団理事長）

総合ディレクター
那須太郎（TARO NASU代表／ギャラリスト）

アーティスティック・ディレクター
フィリップ・パレーノ（アーティスト）

パブリックプログラム・ディレクター
木ノ下智恵子（大阪大学21世紀懐徳堂准教授）

アーティスティック・トランスレーター
島袋道浩（アーティスト）

顧問
田口裕士（岡山市議会議長）
那須保友（国立大学法人岡山大学学長）

監事
井上信二（井上公認会計士事務所）

委員
石井清裕（公益社団法人おかやま観光コンベンション協会会長）
細川誠（岡山カルチャーゾーン連絡協議会会長）
井尻昭夫（大学コンソーシアム岡山会長）
桑原功（株式会社山陽新聞社代表取締役社長）
物部一宏（RSK山陽放送株式会社代表取締役社長）
鈴木裕一（岡山放送株式会社代表取締役社長）
仮谷寛志（テレビせとうち株式会社代表取締役社長）
永山久人（公益社団法人岡山県バス協会会長）
永山久仁彦（一般社団法人岡山県タクシー協会会長）
林秀樹（西日本旅客鉄道株式会社岡山支社支社長）
越宗孝昌（公益財団法人岡山文化芸術創造理事長）
石川康晴（公益財団法人石川文化振興財団理事長）
三宅泰司（岡山市教育長）
木内啓子（岡山市産業観光局長）
岩田修（岡山市スポーツ文化局長）

（2025年9月現在の構成員）

収支状況

2023年度事業費内訳（決算）

［収入］ （単位：千円）

区分	金額
負担金	10,000
岡山市	5,000
公益財団法人石川文化振興財団	5,000
諸収入	9
前年度繰越金	33,146
合計①	43,155

［支出］ （単位：千円）

区分	金額
アートプロジェクト費	7,126
作品制作関連費	1,930
ディレクター費	3,308
イベント関連費	1,888
運営活動費	3,964
広報費	2,039
事務局運営関連費	1,925
合計②	11,090

※収支差額（①−②）32,065千円は2024年度へ繰越

2024年度事業費内訳（決算）

［収入］ （単位：千円）

区分	金額
負担金	50,000
岡山市	25,000
公益財団法人石川文化振興財団	25,000
協賛金	11,000
諸収入	45
前年度繰越金	32,065
合計③	93,110

［支出］ （単位：千円）

区分	金額
アートプロジェクト費	35,158
作品制作関連費	6,407
ディレクター費	22,675
イベント関連費	6,076
運営活動費	15,794
会場運営費	2,997
広報費	7,507
事務局運営関連費	5,290
合計④	50,952

※収支差額（③−④）42,158千円は2025年度へ繰越

2025年度事業費内訳（決算見込み）

［収入］ （単位：千円）

区分	金額
負担金	250,000
岡山市	100,000
岡山県	50,000
公益財団法人石川文化振興財団	100,000
補助金・助成金	1,440
地方創成応援税制寄付金	36,000
協賛金	41,000
グッズ等販売収入	922
諸収入	6,881
前年度繰越金	42,158
合計	378,401

［支出］ （単位：千円）

区分	金額
アートプロジェクト費	265,413
作品制作関連費	218,402
ディレクター費	25,000
イベント関連費	22,011
運営活動費	97,912
会場運営費	36,716
広報費	46,331
事務局運営関連費	14,865
合計	363,325



特別共催　Co-organizer

メルコグループ

特別協賛　Special Sponsors

Ishikawa holdings ltd.

山陽新聞社

ちゅうぎんフィナンシャルグループ

JR西日本グループ

協賛　Sponsors

TOYOTA 岡山県トヨタ販売店グループ

総合環境クリエイト 株式会社 サピックス

TOMIYA

NAKASHIMA We Go Beyond

JT

両備グループ

RSK

OHK

TSC

ProdCo

ワクワク、冒険大学。 岡山理科大学 OKAYAMA UNIVERSITY OF SCIENCE

MARUZEN-YUSHODO

作品制作協賛　Work Sponsors

協同組合岡山市栄町商店街

芸能山城組 GEINOH YAMASHIROGUMI

安政三年創業 廣榮堂 武田

TOMIYA

HIRAKIN

株式会社ヤマホン

作品制作協力　Work Supporters

NISSIN

NISSENREN

Ocean's Seven

金箱構造設計事務所

極東リース株式会社

株式会社グランド GRAND

SANADA DENKI

SUNAKEN

DAIGUMI 大組グループ

竹村商会 TAKEMURA

垂水重機

NAKA JYURYO

Vision ENGINEERING

factory international

助成　Granting Agencies

Mecenat ArtsFund

INSTITUT FRANÇAIS

後援　Supporting Agencies

駐日ブルガリア共和国大使館 EMBASSY OF THE REPUBLIC OF BULGARIA IN TOKYO

AMBASSADE DE FRANCE AU JAPON Liberté Égalité Fraternité

INSTITUT FRANÇAIS アンスティチュ・フランセ

CONSULATE GENERAL OF INDIA OSAKA-KOBE

México Embajada de México en Japón

駐日韓国文化院 Korean Cultural Center in Japan

Schweizerische Eidgenossenschaft Confédération suisse Confederazione Svizzera Confederaziun svizra

Embassy of Switzerland in Japan スイス大使館

ブリティッシュ・カウンシル

在大阪・神戸米国総領事館

Embajada de la República Bolivariana de Venezuela en Japón

岡山芸術交流2025 開催報告書
令和8年（2026年）3月発行

岡山芸術交流実行委員会事務局
〒700-8544 岡山市北区大供1-1-1 岡山市スポーツ文化局スポーツ文化部文化振興課内
TEL.086-221-0033
E-MAIL: info@okayamaartsummit.jp
www.okayamaartsummit.jp/2025/


岡山芸術交流2025
Okayama Art Summit
9.26 Fri. —— 11.24 Mon.